

中学校 2年 音楽科

考える
感じる

話す・聞く
書く 読む

育成したい
国語力

資料(歌詞)に表された内容を理解し、効果的な表現に気付く。場の状況や聞き手の意図を感じたり、それに応じた効果的な話し方を工夫したり、話し手の意図や考えを感じ取り話の意図を深く聞き取る。自分の考えの根拠を明らかにしながら書く。

題材名 「音楽の表現を工夫しよう ~ 発声や和声の響きを感じながら歌詞の内容を表現しよう ~」

題材の流れ

第1時・第2時

- ・歌詞の内容をイメージして興味・関心をもつ。
- ・パート練習で音を確認する。

第3時

- ・各パートの音を取り、合わせる練習をする。

第4時・第5時

- ・母音や子音の発音を意識する。
- ・響きのある発声を工夫する。
- ・様々な表現方法を工夫する。

第6時(本時)

- ・演奏を記録して鑑賞する。
- ・よりよい表現を考える。

事後・関連等

- ・他校の演奏(発表記録)を聴いたり、学習発表の機会を設定することにより意欲をもつ。

本時の目標

・歌詞の内容にふさわしい表現について、各パートで話し合い、よりよい表現方法を工夫する。【音楽的な感受や表現の工夫】

本時の流れ

導入

前時の内容を確認 (一斉)
・学習内容を思い出して合唱する。

本時の目標を確認 (一斉)
「録画した自分たちの演奏を鑑賞し、歌詞の内容をよりよく伝えるための表現について考えよう！」

展開1

【合唱】

歌詞の内容を考えて歌う (一斉)
・歌詞や旋律の表す情景や状態、気持ちを想像しながら歌う。
*この場面を録画する。録画A

展開2

【合唱】

発音と音色を考えて歌う (一斉)
・歌詞の内容がよく伝わるようにことばの母音や子音をていねいに発音する。
・他のパートの歌詞や音色を聞きながら、声の響きを合わせる。
*この場面を録画する。録画B

展開3

鑑賞と話し合い

(グループ)
・録画Aと録画Bを聴き比べ、ワークシートに記入する。
・気付いたことを基に、歌詞の内容を合唱の響きとともに伝えるには、どんなことに気を付けて表現すればよいか考えて話し合う。

まとめ

本時のまとめ (一斉)
・話し合いの内容を各グループから発表する。
・よりよい表現と考えられる方法を取り入れて合唱し、録画する。録画C
・録画Cを鑑賞し、歌詞の内容によって、ふさわしい表現があることに気付く。

国語力育成の視点

本題材では、音楽を特徴付ける諸要素のひとつである「音色」に着目しながら、歌詞の内容を聴く人に分かりやすく伝える表現方法を工夫します。

音楽を聴いて感動できる豊かな感性をはぐくむため、本時では【音楽的な感受や表現の工夫】の観点における「感じる力」「考える力」を育成します。具体的な取組として、話し合いの場面で生徒自身が感じたことを明確にし、順序だてて話したり、相手の意見の要旨を的確に把握して聞き取ったりします。

視点①

考える力

旋律は歌詞のイントネーションや韻、リフレインなどによって規定されていることが多いです。歌詞の情景や状態、気持ちを表す効果的な表現に気づき、「考える力」をはぐくみます。

視点②

考える力・感じる力

- ・録画A・Bを聴き比べて感じたことを相手が理解しやすいように、具体的なイメージをもちながら交流します。聞き比べて感じたことをワークシートに書き、自分の考えを整理しておくことが大切です。
- ・「お気に入りのフレーズ」を見つけてどんなことに気を付けて歌いたいかを話し合います。ワークシートに書いたことを基に順序立てて話したり、自分の体験や知識に関連させて考えが深まるように聞いたりします。適切に質問をし、相手の意図を聞き取ることも大切です。

ワークシート

クラスの合唱に磨きをかけよう!!

録画Aを聴いて気付いたことは? 録画Bを聴いて気付いたことは?

お気に入りの歌詞や旋律のフレーズは、どこですか?

理由()

「お気に入り」のフレーズはどんなことに気を付けて歌いたいですか?

- ・発声
- ・和声の響き
- ・強弱・速度の変化
- ・レガート
- ・マルカート

低学年

中学年

高学年

中学前

中学後

音楽

美術
工芸
技術

家庭
技術
家庭

保健
体育

特別
活動

道徳

総合
学習